



第23号

平成11年10月26日

発行所 徳山大学校友会
〒746-8566
山口県徳山市久米 徳山大学内
☎&FAX 0834(28)7454(代)

発行責任者 國 廣 憲
編集責任者 今 元 英 之

平成11年度、12年度新評議員選出される 平成11年度評議員会開催

平成11年度徳山大学校友会評議員会が6月26日(土) 徳山市ホテルサンルート徳山で55名(委任状11名)の評議員が出席し、開催されました。今年度は評議員改選の年にあたり評議員選出方法の手続きに則り選出された60名が平成11年度、12年度評議員として選出されました。

この選出方法につきまして述べてみますと、今年1月に評議員選考委員会が発足、委員長に1号議員藤岡正史氏(2期卒・徳山大学・副幹事長)が選ばれました。この後広報等を通して、1号(職域) 2号(地域・支部) 3号(クラブOB会及び学生団体OB会) 4号(期別)より4月末日まで推薦依頼を行いました。これによりまして集まりました評議員候補者推薦状に基づき5月、6月と2回の選考委員会を開催、候補者名簿を作成、最終的に6月に行なわれました幹事会にて選考されました。今回おこなった新規評議員としては2号議員宇部地域より選出の大久保満氏、3号議員では女子バスケットボール部より橋本泉氏、また福島演習から白石清史氏などが選出されました。残念ながら1号議員(職域)の



掘り起こしはできず、これからの課題として残りました。今回選出されました60名の方々はお忙しいことは存じますが1年に1度の評議員会出席だけと言わず、卒業生の代表として活力あるOB会づくりにどうぞお力を貸していただきたいと思っております。(新評議員及び役員一覧は3頁)

議事の方は、各部の10年度の事業報告、決算、11年度の活動方針と事業計画及び予算についてまた会則改正等スムーズに審議され承認されました。この中で平成11年度活動方針について、ご紹介しますと、「現在、わが国はバブル経済の崩壊後、長年続いた右肩上がりの経済に終止符が打たれ、出口の見えないトンネルの真つ只中にあります。

中略——母校徳山大学では受験生急減という衝撃の中で、教務部長の杉光教授を中心とした「大学改革検討委員会」が設

置され、2001年を目指し新学科開設を実現させることを柱に様々な議論が繰り返されていきます。生き残りをかけて今何を行べきか、大学側より出される具体的事項について、本会としては全面的協力する方向で、今後の推移を注視していきたいと考えます。——後略——」というところで18歳人口減少に伴います、受験者の急減に歯止めをかけ再浮上すべく母校を支援していくことを活動方針としています。大学をとりまく環境も厳しくなっておりますが、このことにつきましては、この会の終了後徳山大学教務部長の杉光先生の方から「大学の現況」としてお話いただきました。2面に詳しく掲載しておりますのでどうぞご覧下さい。

議事の最後として役員改選が行なわれ、別表の役員が承認されました。今回の特色として若い卒業生の参画、女性役員の登用を行い新旧のOB・OGによるフレキシブルな会の運営を目指しているようです。

なお今回をもちまして、3期6年副会長を務められました小坂稔氏が勤務地の都合により退



任されました。小坂さんは徳山に協栄生命支社長として赴任されたことを機に本会役員につかれました。転勤の多い職業柄広島、岡山と途中変わられました。夕方からの校友会の役員会にも駆けつけていただくなど大変精力的にご尽力いただきました。謹んで小坂さんの誠意ある活動に対して心から敬意を表しますとともに、今後のご活躍を



祈念いたしております。評議員会終了後は恒例の懇親会が開かれ恩師、OB・OGさらに現役学生を交え、楽しいひとときをおくりました。



徳山大学の入試の現状とこれから

教務部長・大学改革委員会委員長 杉光英俊

18才人口激減という社会現象を背景に、各大学は学生の確保、生き残りを目指した改革案を模索し、その実現にしのぎを削っています。本学も志願者の減少は放置できない状況にあり、本年3月学長より対策案の提出を求められ、7月末に第1次答申案を提出しました。本学の現状とあわせてお知らせし、ご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

1、本学志願者数および学生数の推移
表1は学生数の現状です。経営学科は3年前から定員を削っておりませんが、このまま行けば本年から両学科ともに定員割れに陥る可能性もあります。

学 科 (定 員)	1年	2年	3年	4年
経済学部 (300)	364	404	395	436
経営学部 (150)	123	132	141	161
合 計 (450)	487	536	536	597

表1：学生数の現状（1999.7.1現在） 減少の主な原因は18才人口の減少と経済学部の人気低下にあります。図1は18才人口に対して計算した予測グラフです。このまま推移した場合、2003年には入学者が250名以下となると予測されます。

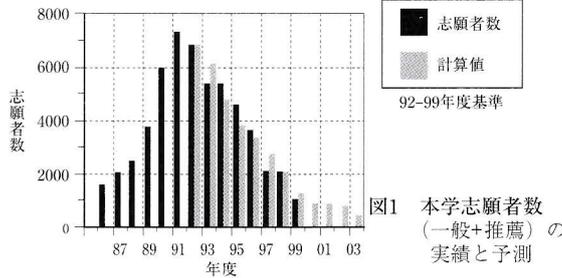


表2 答申書項目

- ①大学が選ばれる時代に対応する入試制度の確立
- ②多様化する入学生に対するケア体制の整備
- ③学習意欲を醸成する教育体制の整備
- ④多様化する学生に対する就職対策
- ⑤社会的ニーズに合致する学部学科の新設
- ⑥生涯学習に向けた環境整備

主な原因は18才人口の減少と経済学部の人気低下です。図1は18才人口に対して計算した予測グラフです。このまま推移した場合、2003年には入学者が250名以下となると予測されます。

2、大学改革委員会答申
本年4月から7月まで、杉光、大竹、横山、岡野、高倉、南、内山の7名が委員に委嘱され、教職員の意見を得ながら対策案の検討を行いました。7月末に提出した答申の骨子と答申事項は次の通りです。

3、全入時代に対応する大学とは
全入時代にはこれまでの大学のイメージを180度転換する必要があります。これまでの入試は学生を選抜することであり、入試の門戸を広げるだけで志願者を増やすことができませんでした。大学が選ばれる時代には大学を魅力あるものにするしかありません。本学では本年からAO入試制度を導入しています。AO入試はアメリカでのアドミツションオフィス制のことで、本来は入試専門のスタッフが各地方から優秀な学生をスカウトしてくる制度です。日本では入学試験を課さない入試という誤解があるようですが、そうではありません。やる気があるなら、これまでの成績は普通でよいという意味です。その分クラブ活動やボランティア活動などにあてることができるようになります。しかし、入学後のケア体制が伴わなければただの人集め策に陥ってしまう危険があります。

もう一つは、多様性のある教育内容を提供することです。しかし、これを本学だけでやろうとすれば大きなリスクを負いかねません。そこで、徳山高専、徳山女子短期大学、山口キャリアデザイン専門学校等との間で相互協力協定を準備中です。また、学生のやるきを引き出し、就職への足がかりともなるように、資格取得奨励金の新設を検討しています。大学全体のことをいはいはいたのですが、経済学部と異なるニーズの学部、学科が必要であり、その視点に立った増設案を提示しました。

米国では1970年代に受験人口の減少に直面しましたが、10年後に全米私大連が得た結論は次の通りです。

「学長を初めとする経営陣や教授団が、学生数の減少傾向をいち早く察知して警告を発し、その地域固有の高等教育の需要を見極め、果敢な行動に踏み切れば、人口動態の変動に対して大学は生き残ることができる」

あえて大学の現状を公開したのは、今本学が置かれている緊急性を理解されて、協力をお願いしたいからです。一致団結すれば本学にはまだ飛躍する可能性があります。2001年はちょうど本学創立30周年にあたります。21世紀の徳山大学の出発を目指して、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



役員

会長	國廣 憲
副会長	古谷 幸男 松宮 光
幹事長	井上 基義
副幹事長	藤岡 正史
事務局長	三嶋 隆史
企画部(部長)	磯村 泰将 角広 保幸 山本 啓介
広報部(部長)	今元 英之 橋本 泉 岡島 利治
組織強化部 (部長)	瀬川 昌文 原田 浩道 守田 文男 笹尾 礼史
事業部(部長)	盛貞 和見 岡 浩治 井原 郁生
事務局	守田 武史 村瀬 秀輝 中村 道陽 元山 晃

評議員

氏名	備考	氏名	備考
1号議員(職域) 12名		3号議員(クラブOB団体) 8名	
兼重 宗和	徳山大学	原田 浩道	硬式野球
藤岡 正史		川崎 晃一	合気道
豊岡 正行	徳山市役所	守田 文男	ヨット
磯村 泰将		内田 昭次	レスリング
浜岡 浩之		北村 信也	陸上競技
瀬川 昌文	鳥屋	稲垣 直哉	水泳
和泉 憲明		橋本 泉	女子バスケット
長弘 誠二	東山口信用金庫	白石 清史	福島演習
守田 誠			
小坂 稔	協栄生命	4号議員(期別代表・功労者) 23名	
加藤 友昭	スーパーふじおか	國廣 憲	1期
松宮 光	総合警備保障	井上 基義	2期
		白木 清雄	3期
2号議員(支部・地域) 17名		野崎 俊明	4期
古谷 幸男	山口県東部支部	盛貞 和見	6期
角広 保幸		岡 浩治	8期
箱崎 秀彰		通山 賢一	10期
福島 啓文		井原 郁生	13期
志々田秀彦	広島支部	大木 忠彦	14期
長谷川 洋		清水 克敏	15期
神垣 克治		山本 啓介	17期
飛田 徳明	関東支部	木嶋 勇人	18期
森田 雅博		山中 雅英	19期
佐々木俊衛		今元 英之	20期
村尾 勝美	岩国支部	笹尾 礼史	21期
豊川 晃男		小川 徹	22期
網谷 恭之		有吉 英司	23期
吉武 直樹	山口支部	岡島 利治	24期(新)
大川 和子		清水 辰郎	25期(新)
林 央		赤松 保明	元幹事
大久保 満	宇部地区	八木 三	元会長
		福原 良裕	元会長
合計60名(うち女性2名)		廣瀬 孝夫	前関東支部支部長

平成11年度～12年度評議員・役員

平成11年度 校友会 活動予定

校友会ではその目的達成のため企画部、組織強化部、広報部、事業部において各活動を展開しています。各部の主な活動予定についてご報告します。

企画部

1. 徳山大学文化教養セミナー実施(大学・短大の教授による地域向けセミナー)

2. 文化講演会開催(毎年冬季開催、本年度講師未定)

3. 卒業生名簿作成(卒業式時、卒業生に配布)、卒業記念品配布

4. 校友会名簿の整備

組織強化部

1. 支部設立、クラブOBづくりに支援

2. 各支部への助成、同窓会への助成

3. 学生団体及び全国大会出場クラブへの助成

広報部

1. 校友会誌の発行(年2回)

2. 校友会ホームページの作成、発信

事業部

1. 寮の経営、10号館喫茶の経営、運営

2. 学生総合保険業務、自動販売機管理業務

3. 新規収益事業の調査・研究

徳山大学校友会関東支部

NEWS

同窓会開催!

日時: 1999.11.13(土)
17:30受付開始
会場: 東京全日空ホテル36Fカシオペア
(東京都港区赤坂1-12-33
TEL03-3505-1111)
地下銀座線、溜池山王駅下車3分
会費: 5000円

詳しいお問い合わせは
徳山大学校友会関東支部事務局
〒135-0061 東京都江東区永代
2-31-14-901
TEL 03-3630-3409
(留守電の時は連絡先を入れて下さい)
FAX 03-3630-3404
E-Mail/virginia@mug.biglobe.ne.jp
もしくは徳山大学校友会本部
(担当: 守田)
TEL 0834-28-7454

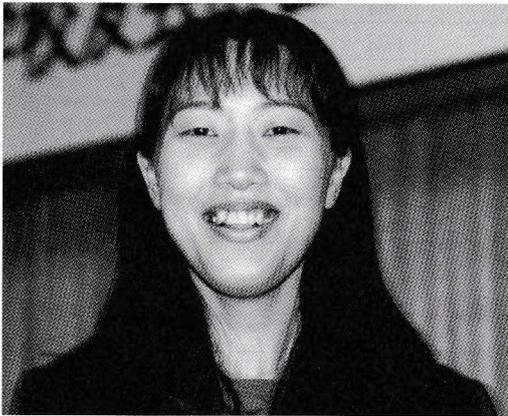
秋の恒例行事となりました関東支部同窓会を今年も開催します。毎年大勢のOB・OGの方にご参加をいただき、年々盛り上がってきています。これまで参加できなかった方も、毎年参加いただいている方もお誘い合わせのうえ是非ご来場ください。尚、今回も女子短期大学OG会関東支部の方と教職員の方々が多数参加されます。



中国アセチレン(株)勤務
(宇部市出身・在住)

第2期生
大久保 満さん

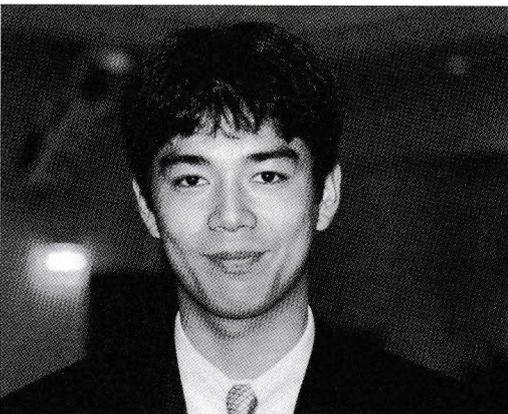
宇部地域で新評議員に選出されました。学生時代、下宿先で知り合った気の合う仲間たちと「どじょう会」というサークルを作られたそうです。体育祭に赤ふん姿で御輿を担いだり、安い居酒屋を飲み歩いたり...という思い出を語られました。今でもご本人の周辺には2~3期卒の徳大OBがいっぱいいらっしゃるとか。声を掛ければすぐ集まる仲だそうです。校友会誌を見られて、もっと身近に後輩がいっぱいいると気付かれ、さらに輪を広げたいと意欲に燃えていらっしゃいます。



(株)福山コンサルタント勤務
(徳山市出身・広島市在住)

第21期卒
橋本 泉さん

徳大女子バスケットボール部OGとして新評議員に選出されました。現在は、広島に在住され、公共道路の調査・計画を主としたコンサルタント業で活躍。週末は、広島から徳山まで帰省され、OG同士で結成したバスケットボールチームで練習に励まれています。ちなみに応援していただけるスポンサーも募集中だそうです。橋本さんは、ご存知、校友会事務局の局員として3年間活躍されました。徳大OBの方は皆いい方ばかりなので、再び校友会の方と出会える場ができて嬉しいと語られました。



山口岩井情報サービス(株)勤務
(岩国市出身・徳山市在住)

第25期卒
清水 辰郎さん

25期の期別代表で新評議員に選出されました。この春卒業されたばかりです。4年間大学祭実行委員会で大活躍されました。持ち前のユニークなキャラクターとその信頼性により、多くの友人を築かれました。3・4年には副委員長を努められ、「自分達の作りたいポプラ祭ができた」と熱く語られました。現在は山口岩井情報サービスに入社され、まだピカピカの新入社員。ひたすらパソコンの勉強をされているそうです。「常に感動できる仕事があったい！」と社会人としての活躍宣言をされました。

今も昔も旬です!!

活躍する徳大OBたち
新評議員編 Vol.7

“活躍する徳大OBたち”
掲載者募集中!!

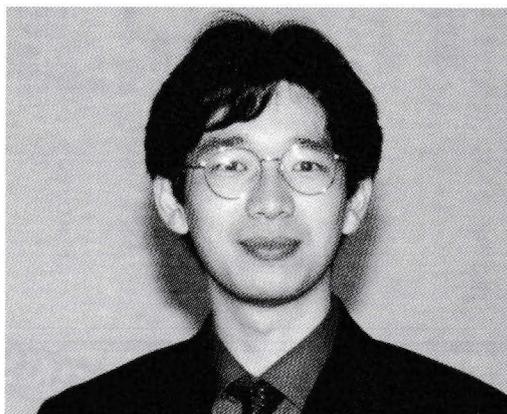
このコーナーへ出ていただける方を募集しています。ご本人もしくは身の周りのOBの方がいらっしゃいましたら校友会事務局まで、お便りと、掲載用の写真を1枚お送り下さい。
※詳しくは校友会事務局まで



下松ケーブルテレビ(株)勤務
(山口市出身・徳山市在住)

第21期卒
白石 清史さん

本誌22号でご紹介した福島ゼミOB会より新評議員に。当時、福島ゼミ初のポプラ祭参加で、ゼミの研究成果をまとめた冊子を制作。また学生会執行部で活躍され、第一学食がなくなった後も、毎年ポプラ祭で、おばちゃんを引っ張り出して、とりライスを復活させた張本人でもあります。卒業された現在も、下松ケーブルテレビで大活躍。開局前から立ち上げに携わり、加入世帯を増やすために営業に大貢献。現在も、地域のローカル番組制作のために、撮影から編集までディレクターとして大活躍です。



(株)西田事務所勤務
(宇部市出身・徳山市在住)

第24期卒
岡島 利治さん

24期の期別代表で新評議員に選出されました。学生時代、2回生の頃、城ヶ丘寮が閉館した年でもあるそうです。4回生の頃は文化体育連合会の委員長をされていました。初の文化系からの委員長だそうです。所属は和太鼓クラブ。有名な回天太鼓を打たれていました。同好会から部へ昇格させられた実績もあります。卒業後も徳山商工会議所の大徳山大鼓回天振興会で活躍。仕事は経営コンサルタントの会社に勤務され、税理士の見習い。将来は、独立開業、「岡島税理事務所」だそうです。

第29回ポプラ祭

第29回ポプラ祭開催 (新しいスタート)

大学開学以来、年行なわれていたポプラ祭も29回目となりました。大学祭実行委員会委員会は委員長 田端君(2年)を中心に熱心に準備に取り組んでいます。どうぞこの機会に母校をおたずね下さい。



10月30日(土) 10:00~18:00
31日(日) 10:00~21:00

テーマ:「RESTART~新しいスタート~」

主な企画:
徳大の祭INポプラ祭・外国人に演発
バンドライブ・外国大会・展示
日本語弁論大会・プロサ
習・クラブ研究・アリス
表・和太鼓演奏・ソノサ
アナル・吉田松陰関係教
育講演会・地酒展示・X
GUNライブ・フリースの
・伝説りまふ。イヤーを
いる。多数こ来場下
に、



レスリング部 2年 松本 良君 世界ジュニア選手権6位入賞

オーストラリア・シドニーで8月20、21日に開かれた世界ジュニアレスリング選手権大会に日本代表として出場した松本良君(2年)が見事、6位入賞を果たしました。松本君の出場した50kg級には世界14ヶ国から14人が出場し、予選リーグでオーストラリアの選手を破り決勝トーナメントに進み、強豪ウズベキスタンの選手に判定勝ち、次にロシア選手でしたが世界一の強豪の下馬評とありの強さを示し、松本君は6位入賞としました。



松本君の活躍ぶり。世界一の強豪の下馬評とありの強さを示し、松本君は6位入賞としました。

「普段(国内)大会とちがう世界選手権独特の雰囲気と緊張感を体験し、スピード、パワー、技術においてすべて勉強になりました。さらに上位に入賞できるよう努力していきたいです。応援よろしくお願いたします」と話していました。松本君の挑戦に注目していきます。



平成11年度クラブ活動前期結果

レスリング部

JOCジュニアオリンピックカップ
全日本ジュニアレスリング選手権
◎4月23日~25日 横浜文化体育館
☆結果/フリースタイル
50kg級 優勝 松本 良(2年)
76kg級 2位 岩佐康博(2年)
第2回アジアジュニアレスリング選手権大会
◎7月3日~11日 イラン・イスラム共和国(日本代表)
☆結果/フリースタイル
50kg級 5位 松本 良(2年)

女子バスケットボール部

第25回中国学生バスケットボール優勝大会
◎5月10日~13日 広島修道大学
☆結果/準優勝
◎10月13日~18日 島根大体育館他
☆結果/準優勝(徳山大48-49広島大)
11/27~国立代々木体育館全国大会出場

柔道部

中四国学生柔道優勝大会・同選手権大会
◎5月27日~30日 徳島県立鳴門武道館
☆結果/団体戦 3位

ゴルフ部

平成11年度中四国学生ゴルフ春季1部校リーグ戦
◎5月10日~13日 山口長門豊田湖ゴルフ場
☆結果/団体戦 準優勝

陸上競技部

第53回中国学生陸上競技対校選手権大会
◎5月14日~16日 松江市営陸上競技場
☆結果/
1500m 優勝 柴田芳成(4年)
3000m s c 優勝 中田天平(4年)

第31回全日本大学駅伝

中・四国地区最終予選
◎9月25日 西条クロカンパーク
☆結果/優勝 ※11月7日全日本大学駅伝出場(TV生中継)

硬式野球部

中国地区大学野球春季リーグ戦
◎4月~5月 岡山県営球場他
☆結果/
4位
ベストナイン
三塁手 仁村俊之(2年)
二塁手 江田大介(4年)
一塁手 山下真二(3年)
外野手 八代昌彦(4年)

中国地区大学野球秋季リーグ戦

◎8月~10月 徳山市野球場他
☆結果/
3位(8勝5敗)
ベストナイン
投手 田中 明(4年)
一塁手 山下信二(3年)

軟式野球部

平成11年度西日本学生軟式野球連盟春季リーグ戦
◎5月9日~16日 下関球場
☆結果/
準優勝
最優秀投手賞 木村和哉(4年)
ベストナイン賞 外野手 松尾 聡(4年)

水泳部

第30回中国四国学生選手権水泳競技大会
◎7月9日~11日 徳島県営蔵本プール
☆結果/
500m自由型 優勝 増田宜之(2年)
1000mバタフライ 1位 殿村修一(3年)
7位 殿村修一(3年)
2000m個人メドレー 3位 中川恵一(2年)



第3回学生交流(OB訪問)を通して 学生会執行部委員長 3年 藤本 英之

我々、学生会のメンバー9名は、OB訪問、平成国際大学との第3回学生交流のため7月1日から7月4日までの4日間東京、埼玉に行きました。今回、OB訪問の予定は当初ありませんでしたが、校友会及び、校友会関東支部の方々のご好意により東京にて食事会という形で実現しました。

さて、いざOBの方と顔を合わせても初めてお会いするので少々緊張気味でスタートしました。しかし、お話をしてみるととても話しやすく盛り上がりました。さすがに一線で活躍されているだけあって「目」がとても印象的でした。

その中で一番心に残っているお話は「徳山大学出身ということに誇りを持つ」ということでした。2年前に執行部主催でポプラ祭において「徳大生よ、徳山大学の名を叫べ」という討論会を企画しました。在学生にアンケートを取ると、多くの学生は「何大学?」と聞かれると返答に困ったり、山口の方の大学と答えてしまうという結果がでました。つまり、自分が通っている大学に自信を持ってない、誇りを持ってないということなんです。私も、1年生の頃はその1人でした。しかし、学生会に入ってから一懸念に活動しているうちに、自信という誇りを持てるようになりました。OBの方のお話でも

徳山大学出身だからどうだという意識ではなく「○○さんの出身の徳山大学」と言われるように頑張っていると聞かれました。

つまり「出身大学に誇りを持つ」ということは自分自身の努力次第ということなんです。在学生のメンバーは一人一人その言葉を胸に、これからの学生会活動により一層の努力を改めて決意する1日となりました。

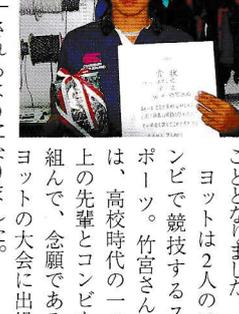
続いて7月2日から4日平成国際大学との交流会が行われました。今回は3回目ということもあり、大変良い雰囲気のもと行われました。今回の目玉企画であった模擬イベントでは「大学生に車は必要?」といった簡易なテーマでそれぞれの意見をぶつけ合いました。その中で交通安全についてや、学校の現状など、ディベートというよりは意見交換会といった感じで話し合いました。最後に、これからの交流について話し合い活発な意見が出ました。今後、両校で様々な合同企画の実現も可能になってくると思います。そして両校の学生同士でより多様性のあるキャンパスライフを築き上げたいと考えています。

OBの方々のお話に非常に感動し、より学生会、徳山大学の発展を目指し頑張っていこうと強く感じた4日間でした。



ライフスタイルクロウズアップ
ヨット・ウェイクボードショップ「サークルウインズ」経営
竹宮 英伸さん (23期卒)

平成11年3月21日、広島市にヨット・ウェイクボード・スノーボードの専門店「サークルウインズ」が誕生しました。この店のオーナーは、3年前に徳山大学を卒業された竹宮さんです。



竹宮さんの徳大時代は、4年間ヨット部に在籍され、光市の室積の海に行つてはヨットに明け暮れた日々だったそうです。4年生の時は主将を務められていました。インカレに出場したのは3年生の時。個人選で18位という成績でした。そして、4年生の頃には、全日本470級ヨット選手権大会に出場を果たされました。



さて、竹宮さんが独立に至ったまでの経緯ですが、大学卒業後、就職は、広島市にある船のメンテナンス会社に入社されました。一般の方を対象にヨット教室の講師もされていたそうなので、土曜・日曜日は勤務となります。だから、好きなヨット

の大会に出れないことが直接の理由で、わずか1年半で会社を退職。退職後、ご自分の最も身近なヨットを中心としたショップ店を経営される

ことになりました。ヨットは2人のコンビで競技するスポーツ。竹宮さんは、高校時代の一つ上の先輩とコンビを組んで、念願であるヨットの大会に出場されるようになりました。早くもその成績は、中四国470級ヨット選手権では2位(1位はオリンピック候補だそうです)の成績を収められ、今年の11月にその全国大会に出場が決まっています。第52回国民体育大会・ヨット競技成年男子470級では13位という成績でした。なんと広島ではトップだそうですね。もはや敵なしといつても過言ではありません。

そんな竹宮さんの夢。それは、ヨットで勝ちつづけて、有名になり、そしてショップも繁盛させたことだ、と語られました。



サークルウインズ
広島市南区皆実町4丁目 11-19-2F
TEL (082) 250-0606
●営業時間/11:00~20:00
●シーズン中は無休

東京にて2人の徳大OBが
就職イベントに主催・講演

去る3月15日(株採用戦略の代表取締役であり、校友会関東支部の事務局長でもある佐々木俊衛さん(16期卒)が就職イベントを主催されました。(後援、東京FM放送)佐々木さんは「情報+行動力=成功の方程式 就職活動



はこれで勝てる」と題して熱弁されました。そして、もう一人の徳大OBは、このイベントに現役人事担当者として「人事担当者へのアプローチ、私たちがここを見る」と題して講演された。(株)地産の人事課長田中哲也さんです。田中さんは徳大12期卒です。

2人の徳大OBが、この就職が厳しい状況の中、東京という地区において、多くの学生たちを集め、就職支援として貢献された嬉しいニュースでした。

水泳部OB会(水練会)
校友会訪問される

水練会会長 延原宏さん(16期卒、岡山県立津山商業高校教諭の役員の方々が9月30日校友会事務局に訪問して下さいました。水泳部OB会はこの会では、メールを通して役員の連絡を密にとりながら非常に精力的に活動されています。定期的な役員会は勿論のこと、在学生の就職の相談相談また結婚されたOBに子供さんが生まれた場合、生まれて初めての賞を会から渡すという趣旨からその子供さんに対してトロフィーを贈呈されるということもされています。

またこの度は、会報のプレゼンコーナーにと、お米5kgを4袋もお持ちいただきました。誠にありがとうございます。水練会の益々のご発展をお祈りします。

おたよりご紹介
●卒業して1年が過ぎました。1年間のうちに、徳山の活動を命じて、ドタバタとあわただしく1年が過ぎました。徳山は、今も昔も、懐かしくもうれしくもあり、4年間は生活したアパルトメントです。今は誰も入っていません。でも、かみ下ろす徳山の街、色気は変わらなずホッとしました。自分の1年間のつづいた宣言でもあります。徳大OB会。校友会事務局。 鳥居 23歳

STAFF
広報部長 今元 英之 (20期)
事務局長 中村 道陽 (11期)
広報部長 橋本 泉 (24期)
協力 守田 満里子 (23期)
編集後記
大学は激変期に突入しました。来年30周年を迎えますが、ここを境に好転していくことを願っています。皆様のご意見もお待ちしております。校友会広報部では部長に若きエース今元氏を迎えスタッフも入れ替わりました。次号ではプレゼントコーナーを充実させていくことを第一目標として頑張りたいと思います。

●お便り随時募集!
あなたの身近な出来事、在学時代の思い出、同窓会の話など、何でも結構です。
●プレゼント大募集!
何でも構いません。貴殿のPRも添えて、どうぞ!
●協賛広告募集!
校友会誌をより充実させるためにご協力のほど宜しくお願いします。
※詳しくは校友会事務局まで

プレゼントコーナー!!
●広島グルメガイド2000
●プライダルガイド2000Vol.1
提供/ザメディアジョン
各20名様
745.8566
徳山市久米 徳山大学校友会事務局まで
1希望商品
2氏名
3年齢
4住所
5TEL
6ご意見感想
応募方法
※お米5kg ※校友会事務局まで取りに来ていただける方限定
4名様
提供/水練会